

KYOEI ENGINEERING

共栄エンジニアリング株式会社

〒959-1961 新潟県阿賀野市山倉1912-2
TEL.0250-61-2400 (代) FAX.0250-61-2661

<http://kyoeieng.co.jp/>



地域未来牽引企業

2024.8 [400]



価値あるカタチを創り出す

KYOEI ENGINEERING

CORPORATE PROFILE

つながる未来に 技術で 新たな価値を。



共栄エンジニアリング株式会社
代表取締役 石崎 竹二郎

お客様の喜びと共に 「ものづくり」のお手伝いを。

私たち共栄エンジニアリング株式会社は1990年6月18日に工業製品の試作製作を主目的に設立しました。金型製作、射出成形量産へと営業品目を徐々に増やし、形状をナノスケールで具現化する超精密微細加工をはじめとした各種の生産体制を整え現在に至ります。

お客様のどんなご要望にも答えるため、難題であっても必ずカタチにするという気概と、常にチャレンジする意欲を持ち、ご依頼の全てに対応するべく技術の研鑽に努め日々新しいスキルの開拓を進めてまいりました。そして社員一人ひ

とりと共に、企業としてもお客様に育てていただき「柔軟な対応力」そして「スピード感」を身に付けてまいりました。それらを磨きながら、お客様と共に喜びを分かち合えるものづくりを続けてきたからこそ今のお客様との信頼関係を築けているのだと感じています。

今後も弊社は常にチャレンジするという姿勢を貫き、難しい課題であろうとも弊社を信じてご依頼いただけていることを忘れずに、チームプレーを大切にしたい日本ならではの結束力と技術力を継承しながら社員一丸となって課題を解決に導いていきます。そして、お客様の理想を実現していく中で企業としての成長を続けることで、今まで以上にお客様のお役に立てるより良いイノベーションがご提供できると信じております。

あらゆる加工を可能に 設備と技術でさらなる満足を。

弊社はお客様の製品開発を支援するために、最新鋭の設備と今までチャレンジを続けてきた経験によるノウハウでトータルソリューションを提案しており、設計から削り出しや金型生産から射出成形まで、試作・量産を問わず、一貫して請け負うことでタイムロスのないスピード感と柔軟な対応力を実現してまいりました。

設備や機器の導入は常に「お客様の要望に応えるために」という信条のもと必要なものを揃え、難形状加工や高い要求精度に対しても豊富なアプリケーションとチャレンジ精神で、

ニーズに対してきめ細かくお応えしてきました。これは、「顧客第一主義を持って企業活動を行い、たゆまぬ努力をもって技術開発を行う。そして、社員の和を大切に会社経営を行う。」という理念のもと、「ものづくり」から新たな価値の創造に取り組み、最新テクノロジーと職人の技術の融合に挑戦し、未来のカタチを創り上げていくことを実直に実行してきた結果と考えています。

これからも顧客満足度を重視した「ものづくり」で、開発をサポートするパートナー企業として全力でお客様に伴走します。そしてより新しく、より精度の高い製品を提案・提供し続けることで共に喜びを分かち合える「ものづくり」を体現し、社員一同、『和』をもって共栄エンジニアリングは邁進してまいります。



Precision parts

精密部品

世界が求める
超精密加工の具現化へ。

私たちは試作を得意とする企業として他社に出来ない難案件も、
圧倒的な技術力、発想力、そして行動力で数多く請負い、
特殊で難しい事例をお客様の満足いくカタチでアウトプットしてまいりました。
時には企画段階からお客様に伴走し、試作の先を見据えた進言を行いながら、
実直に最善のカタチを作り上げることに注力しています。
その経験で培った技術とノウハウを融合させ、
今まで以上に新しい次世代に通用するカタチを作り続けることで、
これからも安心してお任せいただける企業でいられるように努力を続けています。



Strengths
J1

精密部品加工

一般的に加工困難な形状や高精度が求められる分野の加工も
最新の設備と豊富な経験から各種部品に最適な加工条件で製作を請け負っています。

小ロット・短納期の実現

これまでの製造ノウハウを活かした
仕組みづくりで小ロット・短納期の
試作を実現します。
ロボットによる自動化、最適な生産
方法の算出、自社一貫体制等あら
ゆる部分で無駄を省き、小ロット
多品種における短納期を実現して
います。



加工技術

お客様が期待する形状に対して
より多く対応できるよう多種多様
の設備を保有しており、それぞれ
違う機器の特性を掛け合わせる
ことで他では真似できない新しい
加工方法を生み出し、様々な要望
にも柔軟に対応するための加工
技術を日々研究しています。



Strengths
J2

難削材 / 難形状加工

長年蓄積してきた加工実績と、独自ノウハウにより多種多様な難削材・難
加工形状の加工が可能です。
様々な形状に合わせて多軸同期加工や自社独自の治具設計、工程設計に
より短納期と高品質をお届けします。



難削材への対応

難削材はそれぞれの特性にあわせて加工の内容が異なります。
弊社では、高精度が求められる場面において、過去の経験、データ
とノウハウの蓄積を駆使し、それぞれの素材に合わせた最適な
加工技術を選択することで、高品質な仕上がりを実現します。

難形状の加工技術

他社では困難とされる加工案件にも積極的に取り組んでおり、
加工方法や条件、治具による仕上がりの違いを把握しています。
分野に囚われることなく、弊社の持つ多様な加工技術を複合する
ことで様々な難形状に対応してきた実績があります。

加工可能な難削材一例

> 64チタン / Inconel625 / Inconel718 / Inconel713C / ハステロイC-22 /
ハステロイX / Mar-M247 etc.

適用実績

ターボチャージャー部品(タービン、ベアリング、コンプレッサー)、ポンプ部品、コンプレッサー部品、防衛系部品、人工骨 等

金型技術

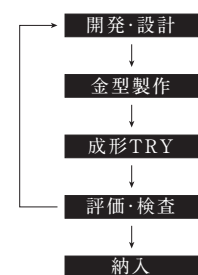
Metal mold technology



お客様が思い描くカタチを
実現する決め手がここに。

クオリティーの高い精密金型を製作・加工するために、
独自の加工技術・ノウハウを蓄積しており、精密加工技術を有する技術者が
最新鋭の設備を駆使して高精度な部品を追求しています。
部品毎の精度保証と、組立時の嵌め合いや摺動動作の調整で熱膨張等も考慮し、
熟練技術で組み上げるなど、たとえそれが難題であろうとも、
創業以来続くチャレンジする社風で様々な角度から課題を考察し、
今までの培ってきた経験と照らし合わせて解決に繋げ
お客様の思い通りのカタチを実現します。

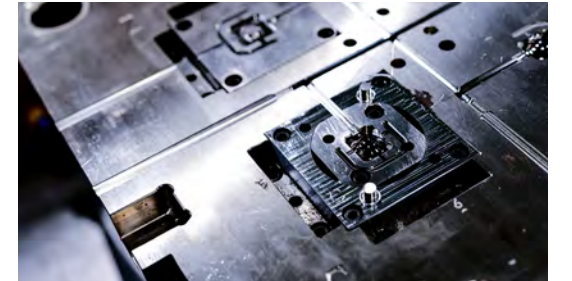
開発フロー



Strengths
J1

高精度精密金型の製造

車載、航空宇宙、医療、各種光学レンズ部品など高精度を要求される分野
において金型の設計から加工、型組、成形など全ての工程を緻密に進め、
高精度な金型を製作しています。
様々な加工に対応するために、マシニングセンターや放電加工機、研削盤
など各種加工設備を揃え、クライアントの理想のカタチを実現する技術と
設備を有しています。



職人の技術力

創業以来培ってきた金型加工の
分野で、機械やソフトウェアで補え
ない匠の感覚や感性などの弊社
に根付く職人の技術力は、ものづ
くりの本質として受け継ぎながら
先端技術と職人技を掛け合わせた
ものづくりを日々進めています。



幅広い設備力

弊社では今までにお客様の様々なご
要望にお応えしてきた実績から、多
種多様な設備を導入しております。
金型では成形機サイズ35tから最大
650tクラスの大型金型まで製作
可能な設備を取り揃えています。



Strengths
J2

射出成形

金型製造と同じ工場に成形設備を保有する事により、金型から成形までを
自社完結し、スピーディーな対応を実現しています。また、量産成形を見据
えた金型設計を想定し、お客様にVA/VE提案も行います。
その他、お客様に満足頂く高品位な成形部品を製造する為に日々様々な
成形技術開発を行っています。



成形技術開発

極薄部品や形状精度が高い光学レンズ、転写難易度が高い
微細デザイン製品などを忠実に製造する為に、様々な成形技術
開発を行い、お客様へご提案しています。



射出圧縮成形技術

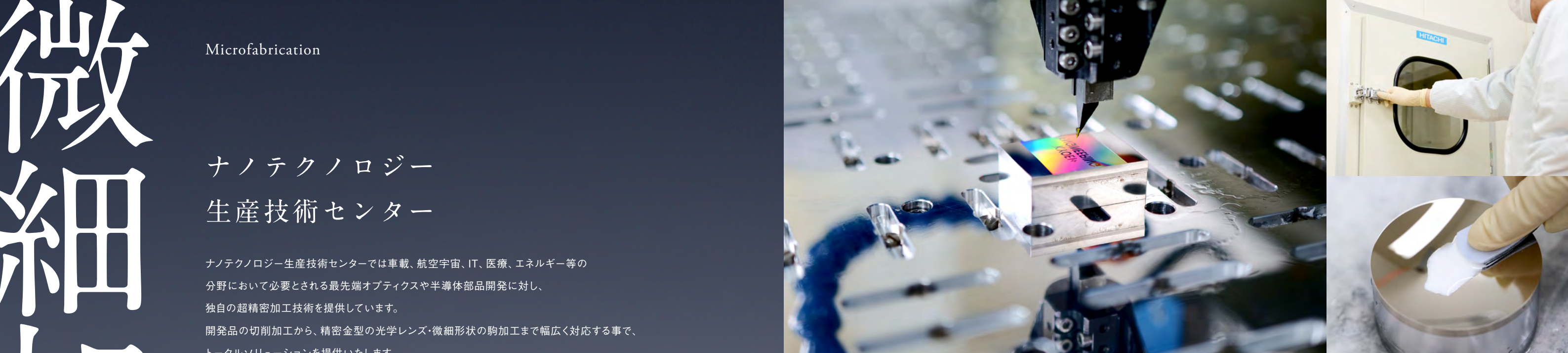
通常のソリッド成形に比べ、極薄形
状への充填率向上やゲート付近の
内部応力低減により成形後の変形
や複屈折を低減させます。



射出成形真空構造

ガスの溜まりやすい形状や転写が
難しい微細パターンに対し、金型内
部を真空引きする事により転写率を
向上させます。





微細加工

Microfabrication

ナノテクノロジー 生産技術センター

ナノテクノロジー生産技術センターでは車載、航空宇宙、IT、医療、エネルギー等の分野において必要とされる最先端オプティクスや半導体部品開発に対し、独自の超精密加工技術を提供しています。

開発品の切削加工から、精密金型の光学レンズ・微細形状の駒加工まで幅広く対応する事で、トータルソリューションを提供いたします。

あらゆる加工を追求し、未知の領域に挑む。

最適な解析/分析の提供 Optimal Analysis

3Dデータや光学数式、係数などから最適なシステムとノウハウで超精密加工を実現します。また加工から測定・分析・解析までの一貫対応でソリューションを提供します。

加工設備 Processing equipment

超精密5軸加工機、国内最大級の4軸非球面加工機、そして大型加工が可能な超々精密6軸加工機を取り揃え、あらゆる形状、サイズに対応いたします。

これら最先端ハードウェアに加え、精円振動切削、STS（スロー・ツールサーボ）、超音波スピンドルなどのアプリケーションにより高精度・高品位な加工をお客様にご提供いたします。

最先端技術 Advanced technology

	アプリケーション
微細溝加工 Groove processing	導光板 / プリズム / レンチキュラーレンズ / リニアフレネル / マイクロ流路 / 回折格子・ブレース加工 / 各種スタンプ etc.
フレネルレンズ Fresnel lens	太陽光ソーラーパネル / ストロボフラッシュ / 車載ランプ
ドット加工 Microdot processing	マイクロドット(導光体) / マイクロレンズアレイ (MLA)
非球面加工 Aspherical processing	車載レンズ / カメラ・プロジェクター用レンズ
自由曲面加工 Freeform processing	ヘッドアップディスプレイ (HUD) 用ミラー / コンバイナレンズ

品質保証体制 Quality assurance

製品の形状精度や表面粗度、微細ステップパターン等のプロファイルを計測し品質を保証致します。また測定のみのご依頼にも柔軟に対応します。

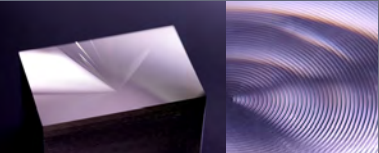
工場環境 Factory Environment

超精密な加工精度を実現する為には、温度、湿度、振動の管理が重要です。工場内は24時間±0.5℃で管理され、加工機内はエンクロージャーにより±0.1℃で厳密に管理、外乱振動には基礎工事に加え機械に除振台を設置する事で超精密を実現する環境を確立しています。

また微細加工に有害な塵埃等を排除し、ISOクラス7レベルのクリーン環境を構築しています。

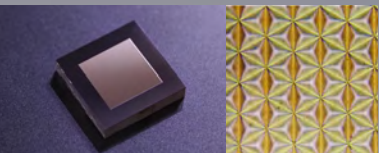
主な加工技術 | フレネルレンズ加工技術 / マイクロドット加工技術 / マイクロニードル加工技術 / マイクロレンズアレイ加工技術 / 回折格子加工技術 / 超精密6軸加工技術 / 自由局面加工 / 多軸加工 / 精円振動切削加工 / 非球面加工 / 平坦面・鏡面加工 etc.

フレネル加工



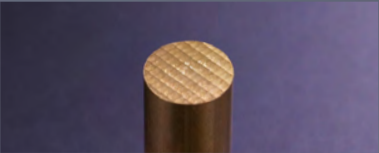
高精度にバイト角度を制御することで、フレネルレンズなどの各種レンズ加工が可能です。リニアフレネル、非球面フレネルレンズ、DOEレンズなどに対応できます。

三角錐リフレクター加工



先端V形状のダイヤモンドバイトで3方向に溝加工する事により三角錐を形成する事が可能です。再帰反射(リフレクター)などに使用されます。

マイクロレンズアレイ加工




各種のマイクロレンズアレイに高精度で対応いたします。豊富な実績や各種加工方法より、形状や要求精度、面積に最適な加工方法をご提案いたします。

マイクロニードル加工




1mm未満の直径/長さの極小針加工技術で、先端形状の変形、倒れ、バリを発生させず高精度に加工することが可能です。

回折格子加工



ミクロン単位の微細溝パターンを切削にて高精度に加工し、干渉縞を発生させる回折格子の製造が可能です。

非球面加工



弊社の高精度な非球面加工は、プロジェクターレンズ・マイクロレンズなどに用いられています。樹脂ダイレクト切削から金型製作、樹脂量産成形まで、一貫した対応が可能です。

Ⅰ 経営理念

顧客第一主義を持って企業活動を行い、たゆまぬ努力をもって技術開発を行う。
そして、社員の和を大切に会社経営を行う。

Ⅰ 品質方針

- 1.マーケティングによる顧客満足度向上を図り、PQCDSMEすべてにおいて満足度の高い製品を供給すべく、イノベーションによる時代の先取りと新たな付加価値を創造し、グローバルネットワークの確立を目指す。
- 2.マーケティングに徹し、高品質・高付加価値の製品を低価格でタイムリーに供給する。
- 3.無事故・無災害の“ゼロ災”職場づくりに努め、安全・安心・クリーンな労働環境を提供する。
- 4.顧客ニーズに応え、無公害・環境保全、その他法的規制要求を満たす製品を提供する。
- 5.各部門ごとの工程能力の向上、自工程保証(後工程はお客様)など、製品・プロセスの継続的改善を図る。

Ⅰ 新生産体制

新加工技術をベースに、海外を含めた各工場およびグループ会社が、それぞれの特色を活かし、かつ連携しながら、顧客に満足いただけるサービスを提供出来る生産体制を整えています。

1 光学素子関連の設計開発、
生産体制の充実

2 品質の安定化・
工数の短縮

3 品質保証
(検査の充実)



認証取得対象範囲
本社工場



JQA-AS0262: 本社工場
航空宇宙関連部品の
精密機械加工



共栄エンジニアリング



本社工場(生産本部)
〒959-1961
新潟県阿賀野市山倉1912-2
TEL 0250-61-2400(代)
FAX 0250-61-2661



ナノテクノロジー生産技術センター
〒959-2311
新潟県新発田市荒町甲1209-3
TEL 0254-28-7575
FAX 0254-26-3294

共栄グループ



NTI株式会社
〒904-2311
沖縄県うるま市勝連南風原5192-10
TEL 098-989-0390
FAX 098-989-9787

支社 / 営業所



関東支社
〒338-0832
埼玉県さいたま市桜区西堀4-6-10
TEL 048-845-1487
FAX 048-866-6604



姫路営業所
〒671-0234
兵庫県姫路市御国野町国分寺652-1
TEL 079-251-2773
FAX 079-251-2774

海外現地法人



KYOEI SYSTEMS CO., LTD.
9th Fl., 54 B. B. Bldg. No.3913, Sukhumvit
21 (Asoke) Rd.,
North Klongtoey, Wattana, Bangkok, 10110,
Thailand
TEL.+66-2259-4071 FAX.+66-2664-3242

会社名	共栄エンジニアリング株式会社	役 員	代表取締役社長 石崎 竹二郎
所在地	〒959-1961 新潟県阿賀野市山倉1912-2	取締役副社長 渡辺 尚	
設 立	1990年(平成2年)6月18日	取締役常務 佐藤 大	
資本金	9,080万円	取締役執行役員 沼屋 宏康	
売上高	35億33百万円(令和6年3月期)	取締役執行役員 五十嵐 孝之	
従業員	国内:170名 海外:18名	執行役員 藤田 健一	

昭和61年	東京都世田谷区に有限会社共栄エンジニアリング設立(12月)
平成元年	埼玉県岩槻市に工場新設 本社移転
平成2年	資本金2,000万円にて法人組織 共栄エンジニアリング株式会社を発足(6月)
平成9年	新潟県豊浦町(現新発田市)に豊浦工場新設
平成12年	タイ現地法人 KYOEI SYSTEMS(データセンター)設立
平成13年	タイ現地法人 KYOEI PRECISION(加工工場)設立(7月)
平成15年	株式会社テクニカルエンタープライズに資本参加 グループ会社とする 品質マネジメント国際規格「ISO9001」を取得
平成16年	資本金を9,080万円に増資 タイ現地法人JBM/SA(ソフト販売)設立
平成17年	本社を埼玉県岩槻市より新潟県豊浦町(現新発田市)へ移転(2月) 埼玉県さいたま市に関東支社開設(5月) 兵庫県姫路市に姫路営業所開設(6月)
平成18年	新潟県新発田市に共栄テック株式会社設立(4月) 新潟県佐渡市に佐渡データセンター開設(10月)
平成20年	新潟県阿賀野市新工場に本社移転(7月)
平成23年	東京都台東区に音響事業部開設(12月)
平成25年	沖縄県うるま市にNTI株式会社設立(1月) 沖縄県うるま市にNTIテクニカルセンター開設(4月) 新潟県新発田市にナノテクノロジー生産技術センター開設(12月)
平成27年	環境マネジメントシステム「エコステージ1」を取得
平成30年	音響事業部を分社化 シーイヤー株式会社設立(11月)
平成31年	NTI株式会社 事業拡大の為資本準備金を9,000万円に増資(3月)
令和2年	KYOEI MOLDING(SHENZHEN) CO., LTD.株式譲渡(1月)
令和3年	JIS Q 9100 :2016(航空宇宙)認証取得(5月)
令和4年	日本精機株式会社への株式譲渡により完全子会社化(10月)
令和5年	株式会社テクニカルエンタープライズを吸収合併(3月)



KYOEI+ENGINEERING
SDGs STATEMENT

共栄エンジニアリング株式会社は持続可能な社会の実現を目指し、
環境、社会などの諸問題に対して事業活動を通して寄与すべく、
下記の3項目について積極的に取り組んでいます。



すべての人々のための持続的、
包摂的かつ持続可能な経済成
長、生産的な完全雇用および
ディーセント・ワークを推進する。

全ての人が技術で社会に貢献
し、活躍出来る職場環境構築を
推進します。



レジリエントなインフラを整備
し、包摂的で持続可能な産業
化を推進するとともに、イノ
ベーションの拡大を図る。

最先端の加工機を用いた技術開
発とロボット活用による生産効
率化を推進します。



持続可能な消費と生産のパ
ターンを確保する。

希少金属の有効活用、廃材の徹
底分別により、永続的な3R*を
推進します。

*3R:Reduce、Reuse、Recycle